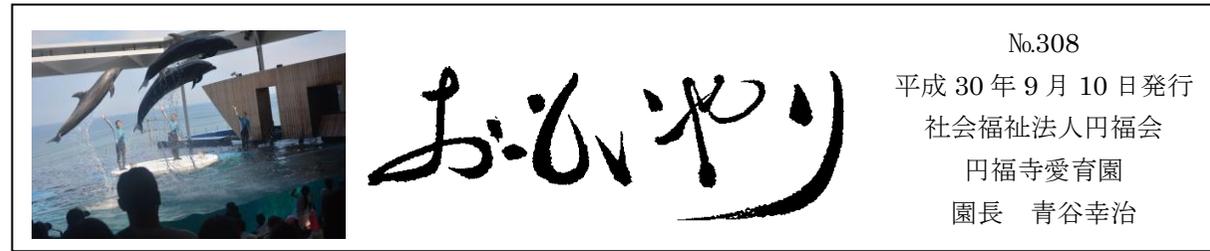


お盆休みに上越水族館に行ってきました。楽しい夏の思い出ができました。



お盆

理事長 藤本光世

円福寺愛育園は行事を大切に子どもたちを育てています。夏休みにはたくさんの行事がありました。その中で、お盆の行事について書きたいと思います。

円福寺愛育園がお寺にあったころ、今のようにお盆の帰省はなくて、みんながお盆の行事に参加しました。迎え盆のお勤めはお墓で迎え火を炊いて、お地蔵さまのところでおまいりしてから門のところ迎え火を炊き、本堂でお勤めをしました。お墓のお勤めでは子どもたちがチンドンジャンをやって精霊をお迎えします。お経をよんでお線香をあげて昔は麦わらを炊いて、迎え火にしました。麦わらが燃えてパチパチはじく音が忘れません。本堂では、おっちゃんがお盆の歌を教えてくださいました。

みどりいろこき きよきこのよい
わがなきひとの みたまよきませ
みほとけむかえ みめぐみあおがん
みめぐみあおがん

わがやのさかえ たらちねのさち
ともしびきよく みたまをまつり
みほとけむかえ みめぐみあおがん
みめぐみあおがん



お盆がやってきたなあと子ども心に感じました。夕食はお盆のメニューで、おかあさんがおやきを作ってくださいました。横田のおやきは、丸茄子を輪切りにして、あいだにお味噌を挟んで、小麦粉の衣で包んでふかして作ります。玉ねぎのおやきやジャガイモのおやきもありました。おやきが互いにくっつかないように柏の葉が巻いてありました。子どもたちがお腹いっぱいにおやきを食べられるように、いくつ作ってくれたのでしょうか。おやきの味と共にお盆を思い出します。

円福寺愛育園でも数年前からお盆の行事を行えるようになりました。迎え火を炊きながら最近入所した年長児に聞いてみました。「お盆の行事でこのように迎え火を炊いたり、キュウリの馬や茄子の牛を作ったりしたことはあるの？」ありません。新任の先生に聞いてみました。ありません。

日本からお盆の行事がなくなってしまったのでしょうか。日本人からお盆の心が消え始めているのでしょうか。ある区長さんが話してくれました。区長さんは迎え盆には新盆のお宅におまいりに行きます。あるお宅へ行ったら、一族が集まって庭でバーベキューをしていたと、憤慨して話してくれました。お盆が普通のお休みとレジャーの日になってしまったのでしょうか。精進料理でご先祖さまを祀る心は薄れてしまったのでしょうか。いや、お盆の行事や過ごし方が伝えられていないのかもしれない。お盆の行事を伝えるのは、年配の人の務めだと思います。愛育園は地域の人々に包まれた施設です。西横田の皆さんが温かく見守って下さる施設です。西横田の皆さんはお仏壇にご先祖さまを祀り、キュウリの馬や茄子の牛を飾りご先祖さまをお迎えします。おやきや精進料理を食べてお盆を過ごします。それはそれぞれのお宅のご先祖様を大切にする心であり、ひいては自分を大切にする心に繋がります。

愛育園は子どもたちの心を育てる施設です。であるからこそ、一つ一つの行事をすべての職員が協力して、心を込めて行わなければなりません。心で心を育てましょう。愛育園で育った子どもたちは、自分があることをご先祖さまに感謝し、先祖を尊び、心の柱としてほしいと思います。お盆の行事はその大切な機会です。円福寺愛育園のお盆の思い出は、子どもたちの生涯の宝となるでしょう。

復興のひまわり

園長 青谷幸治

今年も復興のひまわりが満開に咲きました。東日本大震災から7年が過ぎ今年も円福寺愛育園の庭に沢山のひまわりを咲かせることができました。子どもたちと種をまき、毎日水をやり、そして大きく育ったひまわりを見て子どもたちも満足げな表情でした。

6年前に石巻からひまわりの種を取り寄せ復興のひまわりとして毎年咲かせてきました。そして昨年より福島ひまわり里親プロジェクトに参加し、沢山のひ



まわりを咲かせることができました。

もともとは、東日本大震災のあと私たちにとってできることは何か？子どもたちに震災を知って、忘れないためにはどうすればいいのか？そんな思いからスタートしたこの「復興のひまわり」。現地に行ってボランティアができる自信も余裕もなく、ただTVを見て状況を知るだけ。そんな情けない思いもありましたが、今では、子どもたちと毎年こうして沢山のひまわりを咲かせることで震災で亡くなられた方々を弔い、ご供養になればという思いと残された遺族の方々が元気を取り戻し、町が復興してくれればという祈りを込めて取り組んできました。秋には、ひまわりの種を取り出します。福島のひまわりの種は福島（里親）に返します。そして石巻の種は、今年も愛育園祭で来ていただいた方々にお渡しして、また来年いろんな場所で復興のひまわりを咲かせてもらえればと思います。

何気ない活動でも子どもたちや職員の心は東北の方々とつながっていると思います。そしてまた来年、大きくて沢山のひまわりを咲かせていきたいと思います。この取り組みが園の子どもたちの情操教育の一環になり、子どもたちの心を育て人の役に立てるそんな子どもたちになってほしいと願っています。

リハーサルキャンプ

主任指導員 富沢正樹

8月9、10日に戸隠キャンプをする予定でしたが、2日前から、台風が近づいてきており、止む無く翌月に延期しなくてはならなくなっていました。

夏のキャンプは、子ども達にとって一大イベントで、延期とは言っても、一生懸命に準備を進めてきた子ども達にはとってもショックだと思います。ですから、キャンプに替わる行事を考えては見たものの、やはりそれに替わる行事は見つからず、「こうなったら・・・」と、園でキャンプの練習。「リハーサルキャンプをやろう。」と決めました。

子ども達に戸隠キャンプの中止とリハーサルキャンプの開催を告げると、キャンプに行けなくて残念がっている子もいましたが、「キャンプが2回できる！」と喜んでいる子たちが大勢いて安心しました。

キャンプで作る予定でいた夕飯や朝食のメニューを班ごとで作りましたが、豪快にお肉を焼いたり、キャンプならではの手の込んだ料理をみんなで協力して作り、とても楽しかったです。



ご飯を食べた後は、私が住職を務めさせて頂いているお寺に肝試しに行きました。肝試しは、毎年キャンプの中で子ども達はとても楽しみしています。行く前はお寺という事もあって、かなり怖がっている子ども達でしたが、いざ行ってみると、勇敢にグイグイ進んでいける子が多数いて驚きました。ですが、やはり怖がる子もいて、とても盛り上がりました。夜は、男の子は体育館、女の子は談話室で寝袋を敷いて寝ました。いつもと少しだけ雰囲気が変わり、みんな楽しそうでした。

今回、延期というだけでなく、どうしても替わりに何かしたいと思ったのは、日頃、一生懸命頑張っている子ども達に楽しい夏休みの思い出を作ってあげたいと思ったからです。

夏休みの楽しかった思い出を糧に、二学期も頑張ってもらいたいと思います。

リハーサルキャンプ

あおぞら 近藤誠志郎

8月9、10日は毎年、恒例となっている夏休みの戸隠キャンプの予定となっていました。台風の接近が予想された為今回のキャンプは9月に延期とし、その代わりに園内でリハーサルキャンプを行いました。戸隠で行う予定だった野外活動は今回出来ませんが、それぞれの班で考えたご飯のメニューは予定通りとし、愛育園の食堂で、班で協力して作りました。火はガスコンロとホットプレートを使用した為、火お越しの行程はありませんが、その分、男の子達はいつも以上に包丁を使ったり、材料を焼いたり調理の面で協力をしてくれていたように感じます。私の班には中学生のK君、O君の2人の男の子が参加していました。普段の生活を見ていて不器用な面のある2人だと思っていたのですが、じゃが芋の皮むきをお願いしたところ、苦戦しながらもしっかりと皮むきの役割を全うしてくれました。また、2日目の朝食ではオムレツを作ったのですが、2人ともとても上手に焼き上げており、今回のリハーサルキャンプでは2人の意外な一面を見ることができました。

初日の夜には、お寺での肝試しも行いました。いつものキャンプでの肝試しよりもお寺が舞台だと、より一層緊張感のある空気があり、子ども達からも緊張感が伝わりました。その後には温泉も行ったり、みんなで体育館で寝たりと、日常では味わえないような体験ができて良い2日間になった事と思います。また9月には従来の戸隠でのキャンプも予定しており、野外活動であったり、ご飯のメニューはまた違った



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

物を考えて作ることができたりと楽しみもまだまだあります。今回のリハーサルキャンプでももっとこうしたほうが良いと思った事はしっかりと改善して、9月のキャンプではより一層子ども達と楽しめるように考えていきたいと思えます。

リハーサルキャンプ

8/9・10とリハーサルキャンプを行いました。台風の影響もあり園内でのキャンプとなりましたが、こども達の夏休みの楽しい思い出の1つとなりました。

一番印象的だったのが、班ごとに協力して1日目の夕食と2日目の朝食を作ったことです。食事を班で作るという作業を通じて、子ども達自身も料理の楽しさや、みんなで協力することの大切さ、班のためにそれぞれ率先して動くことなどを学ぶことが出来たと思えます。

私は1班の子ども達と一緒に活動しましたが、それぞれが楽しく協力して料理をすることが出来ました。リーダーのSさんを中心にてきぱきと作業を進めていき、高校生のH君は部活出発ギリギリまで野菜を洗うなどの作業を積極的に手伝ってくれ、中学生のY君は野菜を切るのがとても上手で、スムーズに料理が出来るよう貢献しました。また小学生のY君も自分から進んで楽しく食材をまぜたりお手伝いしたりしました。私の班は両方とも創意工夫を凝らしたメニューだった為、他の班より作る時間が掛かってしまいましたが、その分完成したときの喜びは大きかったように感じます。

来月はいよいよ実際の屋外のキャンプ場でのキャンプになります。今回の経験を活かし、班で一致団結して子ども達にとって更に良い思い出になる様、支援していきたいです。

リハーサルキャンプ

まごころホーム 保育士 加藤ゆかり

8月9・10日に戸隠キャンプを行う予定でしたが、台風の影響で延期となり、愛育園でリハーサルキャンプという形で行いました。大幅に予定は変わりましたが、それでも子ども達のキャンプへの楽しみな気持ちは変わりませんでした。特に班の子ども達が楽しみにしていたのは、食事作りです。普段の食事ではなかなか食べられないものを自分達で作って、食べる事を、とても楽しみにしていました。子ども達は気を利かせて、自分に出来ることを精一杯、楽しそうにやっていました。ご飯の量が少し多く、出来上がるのに少し時間が掛かってしまいましたが、自分達で作ったご飯はとても



あおぞらホーム保育士 宮原徹

(平成30年9月10日発行 月刊「円福」506号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

美味しかったようです。

まごころホームみんなで、更埴市民プールにも行きました。1日中プールで遊びましたが、子ども達は飽きることなく、大はしゃぎでした。職員も子ども達と一緒に、たくさん遊びました。日焼けして、くたくたになって帰ってきたのも、良い思い出です。

私自身、初めてキャンプの班の班長をやらせて頂きましたが、反省がたくさんあります。特に食事作りでは、量が多かったり、手持ち無沙汰になってしまう子がいたりしました。子ども達が最高の思い出を作れるように、楽しめるように、もっと細かな計画を立てる必要があるな、と感じました。9月23・24日に戸隠キャンプを行うので、今回の反省を無駄にしないように、班の先生方と協力して、もっと楽しいキャンプにしたいです！



リハーサルキャンプ

まごころホーム 保育士 有賀 真知

8月9日、10日は、毎年恒例の戸隠キャンプが台風の影響で延期となり、愛育園にてリハーサルキャンプが行われました。開会式の職員による出し物から始まり、夕食作り、肝試し、温泉、朝食作り、プールと楽しい2日間になりました。

開会式では新任職員による出し物を披露しました。私含め、まごころホームの新任職員は恥ずかしがり屋だったり、おっとりした性格だったりします。そんな私たちがテツ and トモや平野ノラのネタをするのは本当に度胸がいりました。しかし、これをやりきったら、子どもたちに新たな自分を見せることができ、もっと距離を縮められると思い、殻を破って全力で披露しました。すると登場から大爆笑が起こりました。ネタが終わるまで子ども達の笑い声は止まず、開会式が終わると「ギター凄かった！」「ギター弾けるの？」と子ども達が駆け寄ってきてくれました。

開会式後は班ごと夕食作りがあり、2班は蒸し鶏、餃子、アボカド



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

サラダ、チョコフォンデュを作りました。男の子はダッチオーブンを使って蒸し鶏を作ってくれました。女の子は中学3年生のAさんを中心に、餃子とアボカドサラダを担当しました。餃子はニラやキャベツをみじん切りにするところから小中学生が頑張りました。餃子の皮に包む作業も素早く綺麗にできました。また率先してこまめに洗い物をしてくれたおかげで調理も手早くできました。



普通の餃子に加え、アボカド、チーズ、トマトの入った変わり種の餃子も作りました。子どもたちもみんな半信半疑でしたが、とても美味しかったです。男の子が作ってくれた蒸し鶏もとても柔らかく、なんと言っても、鶏のダシが効いたメのラーメンは最高でした。

戸隠でのキャンプは延期となりましたが、園でのキャンプもとても充実した夏の思い出になりました。

キャンプリハーサル

あおぞらホーム R,N

今日、キャンプのリハーサルをやりました。

きもだめしでは、かねや、ベーターベンの石像がおいてあったけどぜんぜんこわくありませんでした。

ごはんはチョコフォンデュを作りました、とてもおいしかったです。

リハーサル

あおぞらホーム Y,Y

今日は、キャンプだったけど、台風が接近中だったので、愛育園でリハーサルをやりました。午後



2時から、オープニングをやりました。色々なゲストが来てくれました。とてもおもしろかったです。そこから、夜ご飯を作りました。

夜ごはんはくしやきを中心に、たくさん作りました。とてもおいしかったです。

次に富澤先生のお寺で、きもだめしをやりました。少しこわかったけど、おもしろかったです。松しろそうで、どろぶろにつかってきもちよかったです。夜は、ぐっすりねむれました。2日目の朝は、パンを食べました。

きのうの夜は、一番さいごに食べました。

今日の朝も一番さいごでした。次に、サマーランドにいきました。とてもたのしかったです。

(平成30年9月10日発行 月刊「円福」506号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

キャンプは行かなかったけど、たのしかったです。9月23、24日にほんとうのキャンプがあるのでとても楽しみです。

リハーサルキャンプ 児童感想

8月9・10日は、リハーサルキャンプをしました。本当は、戸隠でキャンプをする予定だったけど、台風の影響で戸隠に行けなくなってしまいました。でも、ご飯を班ごと作りました。ご飯作りは、いろいろお手伝いをしました。他の班からも、ご飯をもらいました。たくさん食べました。ご飯の後は、肝試しをお寺でやりました。途中で道に迷ったけど、ゴール出来て良かったです。肝試しの後は、松代荘に行きました。お風呂がとても熱かったです。夜は、談話室でみんなで寝ました。楽しかったです。

(小5 U・S)

8月9・10日に愛育園キャンプをしました。1泊2日で愛育園に泊まりました。台風の影響でキャンプ場には行けなかったけれど、また9月に行けるので、楽しみが2倍になったと思いました。私が一番楽しみにしていた事は、開村式です。みんな昨年と全然違ってとてもおもしろかったです。ご飯作りもとても楽しかったです。作ったご飯はほとんどお肉でした。一番おいしかったご飯は、スペアリブです。とってもおいしかったです。真っ暗の夜には肝試しをしました。行く時もすごく怖かったです。肝試しをやる前にも怖い話をしていたので、もっと怖くなりました。その後には温泉に行って、泥のお風呂に入りました。とっても気持ち良かったです。露天風呂も気持ち良かったです。寝る時は、女子全員で寝ました。次の日の朝ご飯はたくさん食べました。この2日間良いリハーサルになりました。

(小6 M・M)

8月9・10日にキャンプに行く予定でしたが、台風が来る影響でリハーサルキャンプをやりました。リハーサルキャンプをやる前に、食材の買い物にも行きました。オープニングセレモニーではいろいろな芸能人が来てくれてとても楽しかったです。夕食作りでは、ロコモコ丼とチーズタッカルビとポトフを作りました。私はYちゃんと竹内先生と一緒にチーズタッカルビを作りました。野菜を切りました。班のみんなと協力して作ることが出来たので良かったです。夜は、富澤先生のお寺で肝試しをやりました。私はYちゃんと橋本先生と行きました。怖すぎて、石崎先生も連れて



行きました。鐘が鳴ったりして怖かったです。ゴール出来たので良かったです。その後は温泉に行きました。お湯がうすい茶色になっていてびっくりしました。2日目は朝ご飯を作りました。朝は焼きおにぎりとおムレツを作りました。おいしかったです。その後にみんなでプールに行きました。Mちゃんと橋本先生と一緒にグループになりました。流れるプールなどに入ってたくさん遊びました。とても楽しくて思い出に残る2日間になったので良かったです。また9月にキャンプに行くので、楽しみたいです。

(中1 A・O)

虫送り

まごころホーム 渡邊梓

8月4日に西横田地区の伝統行事である「虫送り」が行われました。古くから、農作物につく害虫を駆除しようと豊作を祈って行われていました。毎年、西横田地区の小中学生が集まり、「みのむしおくれ〜、かんからむしおくれ〜」と言いながら、地区内を練り歩きます。私は今年が初参加でしたが、子ども達が大きな声を出して地区内を歩く姿に、自然と私も大きな声が出ました。地区内を歩き終わると、横田グラウンドで3年生以上が松明を持ち、グラウンド内を練り歩きます。松明の灯りに集まった虫を送るという意味が込められています。その後、横田グラウンドで花火大会を行いました。手持ち花火やドラゴン花火、打ち上げ花火などたくさんあり、子ども達はとても楽しんでいました。子ども達は虫送りよりも、その後の花火大会の方が楽しみな様子もありましたが、これからも伝統を大切に、この行事を続けていって欲しいと思いました。



『飯綱火祭り』

まごころ保育士 竹内早季

先日、中高生と一緒に飯綱で行われた火祭りに行きました。小雨が降り、天候が心配されましたが、ぎりぎり持ちこたえ、無事花火が打ち上げられました。目の前の池から打ち上げられている花火が滅多に見ることのできないくらい大きさで私たちの頭上にいくつも浮かび、子どもたちも「すごい！」と時折歓声を上げていました。シンセサイザー奏者のきたろうさんの演奏と合わせた花火も迫力があって見応えがありました。また、手筒花火も見ることができ、ものすごい火花の中堂々と立っている持ち手の方たちを見て「大丈夫なのかな」と心配そうでしたが、感心した様子で見えていました。直前にリハーサルキャンプやプールに行き、体力的にかなり疲れていたと思いますが、花火を見ている間はその疲れも吹き飛んでいたと思います。招待して下さったことに感謝を忘れずにいてほしいです。

地藏盆

保育士 佐々木 弘観

夏休みが終わる間近の8月18日に地藏盆という地区の行事がありました。地藏菩薩を祀りし、子ども達の無事を祈る目的で行われます。毎年、提灯を飾っているのですが今年は70周年の改修工事があり、提灯の飾り付けはできませんでした。ですが、お地藏様の周りの草取りや、お供え物の準備など子ども達は協力してやってくれました。

お経を読み、地区の皆様と園児一人一人がお焼香し、お供えしたお菓子とジュースを持ち帰ります。子ども達は虫送りや地藏盆などの夏の地区行事はあまり良く分からないという子もいますが、区長様や理事長先生が丁寧に説明してくれました。こうして地域行事を体験し続けていく事は、愛育園と地域の方々との関わりを持ち続け、伝統にふれる事で肌で歴史を感じ、生活している場所への愛情が増す事など、きっと心が豊かになっていくと思います。

来年以降も夏休み終盤の節目の行事であることを大事に考え、子ども達と参加していきたいと思っています。

アルプスピアホームさんとの交流会

主任保育士 石崎早織

今年もまたアルプスピアホームさんと交流会を開催することができました。いつも大勢の方に来ていただき、子ども達のためにおいしいご飯や、寄贈品も頂き、本当にありがとうございます。また何より子どもたちが楽しく遊べるように活動を考えて頂き、また本気で子ども達と遊んで頂きありがとうございます。子ども達もこの交流会をとっても楽しみにしており、楽しく一日過ごすことが出来ました。また私たち職員も普段なかなかゆっくりと子ども達としゃべりながら食事をしたりすることが出来ない中、この交流会では一緒に活動に参加したり、おいしい御飯を囲みながらたくさん子ども達と関わる事ができ感謝しています。今年は女の子達はアイロンビーズの工作を行いました。暑いなか体育館で活動を行っていましたが、黙々と工作に打ち込む姿や、作品が出来上がるたびに「先生見て〜」と嬉しそうに見せてくれる姿を見て、心から楽しんでくれている様子が伝わりました。男の子達は恒例にもなりつつある野球大会を行いました。去年までは1勝1敗という形で終わっていたので、今年は勝ちたいと張り切っている子どもが多くいました。結果円福寺愛育園が勝つことができ、とても喜んでいました！！また来年も交流会が出来るように楽しみにしています！！



お盆行事

園長 青谷幸治
今年もお盆の時期になり帰省できない子達にも思い出作りに上越に遊びに行きました。上越水族館と海に行ってきました。水族館ではイルカショーやペンギンの鑑賞を楽しみました。海を見せてあげたいと思い連れて行きましたが、全員が服のまま飛び込んでしまう始末。とてもうれしかったのでしょう。見ているこちら子どもたちの満足した笑顔を見ることができました。また来年、一夏の思い出を作ってあげたいと思いました。



ホームだより

あおぞらホーム保育士 山田忍

夏休みも終わり、小学生、中学生、高校生、それぞれ二学期へと歩みだしています。夏休み中に予定していたキャンプは台風の為、9月に延期になってしまいましたが他の行事は予定通り行うことが出来、おかげさまでとても充実した夏休みだったのではないかと思います。

そして、管理棟の工事も終わり、きれいになった体育館で運動できる事も皆、楽しみにしております。そして次はいよいよ児童棟の改修工事に入ります、少しの間不便な部分も出てくると思いますが、便利さが当たり前ではなく、不便さに慣れる事も学びの一つとして過ごし、そしてまたきれいになった児童棟で生活出来ることを楽しみにして子ども達と笑い会っていければな、と、思っております。

まごころホームだより

まごころホーム 橋本 雅

楽しかった夏休みが終わり、2学期がスタートしました。子ども達は、それぞれ2学期の目標を決め元気に登校しています。

夏休みでは、リハーサルキャンプをしたり、プールに行ったりしました。楽しく思い出に残る行事が沢山ありました。リハーサルキャンプでは、まず開会式をしました。面白いお笑い芸人がたくさん来てくれて子ども達の笑顔が絶えずとても素晴らしい開会式でした。その後、食事作りや肝試しをしました。食事作りでは、班のみんなで協力して作りました。朝食、夕食とも凄く美味しかったです。肝試しはお寺に行ってやりました。本堂の中を3人グループでまわりましたがとても怖かったです。あっという間に終わってしまいました。とても楽しいリハーサルキャンプでした。今月に本番のキャンプがあります。子ども達と協力し最高のキャンプになるよう準備を進めていきたいです。

また、プール行事では、更埴市民プールやサマーランドに行きました。クロールや平泳ぎの練習をしたり、スライダーをしたり、流水プールに入りました。色々な事をして遊び子ども達と一緒に楽しい時間を過ごす事ができました。夏休み、最高の思い出を沢山作る事ができました。

2学期がスタートしていますが目標や夢に向かって日々努力し頑張っています。



調理室だより

調理員 川澄 保美

今年の夏は、連日の猛暑、熱中症で病院に搬送されると毎日のようにニュースで流れ、暑さとの戦いです。園の子どもも夏休みに入り、とてもにぎやかな毎日です。外での行事もたくさんあり、心配はしましたが、疲れも見せず、元気一杯ですごいパワーです！

改装工事も終わり、空調設備が整った快適な食堂で三食おいしそうに食事をしている子ども達の姿に心癒されます。まだまだ、この暑さは続きますが、子供達からパワーを分けていただき、「おいしいね」と言われるような食事作りに頑張りたいと思います。